

# コロナ禍における、幼児教育を含む 学校教育活動への影響と対策は

## 状況調査を行う



平田 慎一 議員

コロナ禍の現状と対策をどのように評価し、ウィズコロナの段階と、ポストコロナの段階、この2つの感染症拡大防止と経済政策の方向性を示せ。

## 対策に取り組んでいく

町長

今後の対策は、10月から発熱症状のある患者は受診手続の変更がなされる。曾於医師会と協力しながら体制づくりを進めたい。経済対策は、新型コロナウイルス感染症で冷え込んだ消費を回復できるような対策をとる。

## コロナ禍における保育園、幼稚園、学童保育室の現状は

平田議員

コロナ禍における幼児教育の

## 貧困による教育格差の問題と現状の認識は

平田議員

現場では、もし自分が感染し子どもに感染させてしまったら通常に不安を抱いているのが現状である。そのような不安を軽減し何らかの対応を考えるべきと思うがどうか。

家庭の経済格差が教育格差につながっていく心配がある。厚生労働省が本年7月17日公表した国民生活基礎調査によると、依然として全体の7人に1人の子どもたちが、ひとり親世帯に限ると2人に1人が貧困状態だといわれている。

## 実態は把握してない

教育長

福祉とも関係あるが、学校からそういう実態については聞いていない。

## 学びの保障と、誰一人取り残さない教育の機会均等を

平田議員

臨時休校に伴って生じた課題、より重視しなければならぬのは、子どもたちの学びの保障という部分であり、誰一人取り残さない教育の機会均等が重要だと思うがどうか。

## 両立してやっていく

教育長

感染症対策と学びの保証は両

立すべきと思っている。

## ICT活用の方向性を示せ

平田議員

日本の学校のICT活用は、世界的に遅れている。OECD（経済協力開発機構）の平均にも及ばないどころか、世界でも最下位レベルで、学習用途としてICTはほとんど使われていない。そのような中、今般のコロナ対策で前倒しに整備される学校のICT活用をどのように進めていくのか、本町の方向性を示せ。

## 導入から活用へ向け取り組んでいく

教育長

今回のICTの整備により、学校現場の情報化は急速に進展することから、導入から活用へ、そして子どもたちの情報活用能力につなげ、創造性を育む教育ICT環境の実現に取り組んでいく。

## 更に環境整備の活用をはかれないか

平田議員

ICT活用の課題は環境整備であり、アクセス環境やネットワークの高速帯域化に対応すべきで、その手段として地域BW

A（ブロードバンドワイヤレスアクセス）制度の活用ができないか。

## 調査・研究をしていく

町長

地域BWA制度の活用については、活用している自治体を参考にしながら、調査・研究をしていく。

## 防災マップの見直しが必要ではないか

平田議員

自然災害が年々激甚化している。災害のリスクを住民に伝えるため、気候変動に対応した新たな基準等を整備し、河川管理の在り方や防災計画、防災マップ等を見直すことが必要であると思うがどうか。

## 議論していく

町長

浸水マップ等の必要性と十分議論していく。

## ※他質問

- ・7月豪雨等の災害状況と復旧予定はいつ頃になるか
- ・防災・減災について今後どのような対策を取っていくのか



さつまいも収穫体験

## 状況調査を行う

町長

必要な情報を迅速に提供し、町と施設が一体となった感染防止に努めているが、もつと状況調査を行う。